

## 新任社外取締役メッセージ

### 透明性の高い多角的な経営判断で唯一無二の価値創造を

この度、社外取締役に就任しました木曾川です。前職は生命保険業界で、お客さまからのフィードバックを起点とした業務改革、システムプロジェクトの遂行、リスク管理に係るプロセス構築や企業経営全般に携わってきました。業界は異なりますが、ビジネスの基本というものは不変であり、お客さまの要望あるいは潜在的なニーズをいかに捉え製品化するか、サービス化するか、お客さまの想像を超えた新たな提案をいかに発信できるか、ということだと思いますので、私自身のこれまでの経験と情報を最大限活用していく所存です。

現在の経営環境に目を向けますと、気候変動の問題や他国における戦闘による経済の混乱等の課題が山積しています。これら世界規模の課題解決をしていく上で日本企業に対して期待される役割は大きいものです。当社も当然ながら、グローバルな視野でお客さまに寄り添い、社会的課題を解決していく企業であり続けること、当社の存在意義をますます高めていくことが重要です。私は社外取締役として、独立した客観的な立場から多角的に議論を行うことを通じて経営判断のプロセスにおける透明性、合理性を確保しつつ、当社の唯一無二の価値創造を実現するための企業戦略の大きな方向性を確認、また、その業務執行を監督していくことで取締役会の実効性を高めていきたいと考えています。当社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて、当社が創業から大切にしている基本理念や企業文化を軸足においた、より強靱な経営態勢の構築に向けて尽力していきます。

社外取締役 木曾川 栄子



### 法律家として、女性として、「外の人」として

この度、社外取締役に就任しました岸本です。私は、弁護士として24年間にわたり、個人の相続関連から中小企業の法務関連等の民事事件を中心に、幅広い紛争の解決に当たってきました。5年ほど前から、他社の社外取締役・監査等委員を務めるようになり、より本格的に企業の経営について学んでいるところです。

このような経歴ですので、社外取締役として私に期待されているのは、法律家としての法務に関する専門的な視点、ダイバーシティの観点から女性としての視点、さらに、当社事業分野においては良い意味で「素人的」な視点であると理解しています。

これから当社や業界についての理解を深めながら、井関グループのコーポレートガバナンス、コンプライアンスの強化に向けて、まずは真摯に現状を認識し、会社が持続的に成長するためには何が必要なのか、現状の問題点はどこにあるのかを見極めていきます。その上で、会社や業界の「外の人」であるからこそ見えるリスク・機会を見逃さず、疑問に思うことがあれば、それを臆せず提言することが私の役割であり、そのような取り組みが取締役会の活性化や緊張感のある経営につながるものと考えています。

株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまの期待を踏まえながら、歴史ある井関農機にとって良い影響となるよう精一杯努めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

社外取締役 岸本 史子

